

# 誰もが暮らしやすいまちを目指して

# 「ほじょ犬」を知っていますか？

「ほじょ犬」(身体障がい者補助犬)は、目や耳や体に障がいある方の生活をお手伝いする、「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」のことです。現在、市内では多くのほじょ犬が活躍しているのをご存知ですか。

誰もが暮らしやすいまちとはどんなまちでしょうか。それは、高齢者やさまざまな障がいのある方であっても暮らしやすいまちなのではないでしょうか。そんな思いから今回は障がいのある方をサポートする「ほじょ犬」をお知らせします。

## ほじょ犬の種類

**盲導犬** ハーネス(胴輪)をつけ、目の見えない、見えにくい人が街なかを安全に歩けるようにサポートします。

**聴導犬** 「聴導犬」と書かれた表示をつけ、耳が聞こえない、聞こえにくい人に生活の中の必要な音を知らせます。

**介助犬** 「介助犬」と書かれた表示をつけ、手や足に障がいのある人の日常生活動作をサポートします。

## 仕事中のほじょ犬への接し方

ほじょ犬ユーザーがハーネスや表示をつけたほじょ犬を同伴している時、ほじょ犬は「仕事中」です。

○仕事中のほじょ犬には、話しかけたり、じつと見つめたり、勝手に触ったりして気を引く行為をしないようにしましょう。

○ほじょ犬に食べ物や水を与えないようにしましょう。

○ほじょ犬は訓練されている犬ですが、何でもできるわけではありません。ほじょ犬ユーザーが困っている時は、「何か手伝うことはありますか」と声をかけてあげてください。

## ほじょ犬はきちんとしつけられ、健康です

ほじょ犬ユーザーは、責任をもってほじょ犬の行動を管理し、ほじょ犬の体を清潔に保ち、健康に気を配っています。

○ほじょ犬は、ユーザー管理のもとで待機するよう訓練されています。

○ユーザーは、常にブラッシングやシャンプーなどでほじょ犬の体を清潔に保ち、予防接種や健診を受

けるよう努めています。

## お店での受け入れ

身体障がい者補助犬および障害者差別解消法で公共施設や公共交通機関をはじめ、不特定かつ多数の人が利用する、病院、ホテル、飲食店やスーパーなどさまざまな場所ではほじょ犬を受け入れることが義務付けられています。

スーパー、飲食店、ホテルなどの事業者は、ほじょ犬を受け入れることを示すステッカーを活用しましょう。掲示されていることで、他のお客さまの理解も得られやすく、効果的です。



聴導犬ユーザー  
滝口浩哉さんと守号  
(ヨークシャー・テリア)

昨年12月から「守」との生活が始まりました。ほじょ犬は、身体障がい者の体の一部なので、常に一緒です。東京2020年オリンピック・パラリンピックには、世界中から多くのほじょ犬が来日します。島内の方々には、「心のバリアフリー」に対するご理解をお願いします。



盲導犬ユーザー  
椎力ヨ子さんと  
ターニヤ号  
(ラブラドル・レトリバー)

## 「ターニヤ号からあいせつ」

皆さんこんにちは。私は仙台訓練所から来た盲導犬です。もうすぐ5年になります。来た当初はとても不安でしたが、今ではお母さんと毎日楽しく散歩しています。これも皆さんのおかげと心から感謝しています。これからもよろしくお願いします。

## お問い合わせ

市役所市民福祉部社会福祉課

障がい福祉係

☎ 63-51113 FAX 63-51211